

【参考4】 平成24年度科学技術関係 予算重点施策パッケージ

- 科学技術重要施策アクションプランの対象として特定された施策以外の施策について、概算要求後に、重点施策パッケージを特定し、科学技術関係予算を重点化。
- 各府省が研究から課題解決までの一連の取組を提案し、その中から科学技術政策担当大臣・有識者議員がその目的・目標、目標達成に向けたアプローチ、実施体制等に関して評価を行い、重点化すべきものを特定。

【特定結果】

施策パッケージ名	担当府省
半導体製造プロセスの省エネ化・小型化の実現	経済産業省
都市鉱山からの希少元素の回収・再生技術の高度化による元素循環の実現	文部科学省 (連携：経済産業省)

※ナノテクノロジー・材料の研究開発が貢献しているパッケージを抽出

【参考5】 戦略協議会・重点化課題検討TFでの 重点化課題・取組を抽出するための視点

新成長戦略や日本再生の基本戦略等の国家戦略を踏まえつつ、以下の視点に基づき総合的に勘案・評価※して重点化課題・取組を抽出する。

※可能な限り客観的なデータを用いる等、客観的・定量的評価を行うが、必ずしも数字に表れない点を含め総合的・多面的評価を行う。

(1) 期待される効果(経済的効果、社会的効果)が十分に大きく、持続的な成長と社会の発展に貢献するものかどうか

- ・ 経済価値で評価できるもの(産業競争力)
- ・ 経済価値で評価できないもの(安全、幸福、豊かさ、利便性)

(2) 国と民間等との役割分担を考慮した上で、国が主導して実施する必要性が高いものであるかどうか

- ・ 防災、安全保障等の国の本来業務である
- ・ 受益者が多様・多数、不特定(共通的な基盤技術、死の谷克服に向けた実用化課題等である、重要な経済社会インフラに係る技術)
- ・ 事業化までに長期間を要するなどリスクが大きい(アーリーステージの基礎課題等)

(3) 期待される効果の発揮に貢献できるものであるかどうか

- ・ 当該取組の科学技術(含むシステム改革)によるブレークスルーが、課題解決、達成に必要な不可欠である

(4) 当該分野の国際的位置付け(政策上の位置付け、技術競争力の優位性等)を把握した上で、我が国として重点的に推進すべきものと言えるかどうか

- ・ 世界のR&Dネットワークにおける我が国の立ち位置の中で我が国に強みがあり、世界で貢献できる可能性が高い

(5) 緊急性が高いものであるかどうか

- ・ 政策的対応の緊急性が国内外において高い
- ・ 外部環境、競争環境や状況が変化し、緊急性、必要性が増した